

## 要 望 書

衣浦港整備につきましては、平素より格別なるご尽力ご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

衣浦港は、主としてバルク貨物を取り扱い、知多及び西三河地域などの物流・生産活動を支える工業港であるとともに、国内最大級の石炭火力発電所が立地するなど、地域のエネルギー拠点として、中部地域の「ものづくり」産業を支える重要な港であります。近年は、航空宇宙産業やエネルギー関連企業、バイオマス発電所の新規進出や既存企業による大規模な設備投資などが進められております。

1957年（昭和32年）5月20日に重要港湾に指定されて、66年が経過した衣浦港が、今後も中部地域の「ものづくり」産業を支えていくためには、施設の利便性向上を目的とした整備、さらに再編・集約などによる機能強化を図ることが必要不可欠であると考えております。

また、衣浦港がますます発展していくためには、現在の衣浦港の特徴を活かし、バルク貨物の対応に万能な港とすることで、衣浦港自身の再編を促し、利用者にとって有益な港となっていくことが重要で、そのためには外港地区（衣浦ポートアイランド）の整備が必要不可欠です。これは、衣浦港地域だけでなく、名古屋港・三河港とも連携を図ることで各港の特徴を活かした機能強化に繋がります。

また、大規模災害に対して継続的な経済活動を可能とするための防災機能の強化や老朽化対策などの計画的な維持管理に取り組む必要があります。

当振興会としても、関係機関とも連携を図り、既存港湾施設の機能回復を促進するとともに、ふ頭の再編を研究し、衣浦ポートアイランドをはじめとする施設整備と有効活用、災害に強い港づくりを目指してまいります。

つきましては、港湾・海岸整備の予算の確保をはじめとする衣浦港の整備促進及び振興に特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。